

令和4年3月7日

日野町議会議長 小谷 博徳 様

日野町議会議員

佐々木 求



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の背景・趣旨	質問の要旨 (具体的に回答を求める事項)	質問の相手
集落機能維持と支援員配置について	前回の質問時より若干の前進はあるが改めて考え方を伺う。	<p>1. 「地域の仕組みづくり」「話し合いの場づくり」と合わせ、支援員の配置を一部行うとしているが、この間の支援員の活動の教訓、問題点は何か。</p> <p>2. 高齢者宅への訪問、自治会運営支援のため事務所を置くとしているが、どれだけの人数と配置が必要と考えているか。なぜ町内全域で取り組まないのか。</p> <p>3. 集落支援員が作成した集落再生の「処方せん」はどう共有され、どこで議論されてきたか伺いたい。</p>	町長
防災対策について	<p>風水害、地震、原発事故と「防災対策」は差し迫った課題の一つです。</p> <p>「根雨の雨水対策」、「防災無線のデジタル化」で大型ハード事業は一段落したと言われている。しかし、地域に出掛けるとたくさんの課題があると考えます。</p>	<p>1. 「支え愛マップ」は全自治会で作成し、実践できるようにして初めて本当に意義のあるものです。目標を明確にして残る自治会への指導、援助が必要だと考えますがどうですか。</p> <p>2. 「防災」という観点から地域で検討や話し合いを進めれば、何が必要であるかがより明確になると考えるが、そこで「大規模災害」が起きた時にどう対応するか、「防災グッズ」の点検整備と準備を進めるなどの具体的指導はできているか。</p> <p>3. 地域で話し合いが進めば、例えば「落石防止」「水路の改善」などの要求も出ることが考えられます。「仮避難所」であっても、バリアフリー化を急ぐなどの改善も考えられます。どのような対策、支援策を考えておられますか。</p>	